

2021年12月6日
電源開発株式会社

インド国トゥルガ揚水発電所建設事業に係るコンサルタント業務を受注しました

～インド国における4地点目の揚水発電所建設に係る技術支援～

電源開発株式会社（以下：Jパワー、本社：東京都中央区、代表取締役社長 社長執行役員：渡部肇史）は、インド国西ベンガル州電力公社より、「トゥルガ揚水発電所建設事業」に係るコンサルタント業務を受注し、本日業務に着手しました。

トゥルガ揚水発電所建設事業は、インド東部西ベンガル州プルリア郡において、揚水発電所を建設することにより、ピーク時電力供給力及び系統安定化対策の強化を図り、同州の経済発展および生活水準の向上に寄与するものです。

今後は、国内外で培った揚水発電所に関する知見を活用し、ダムなどの水利構造物に高度な知見を有する独立行政法人 水資源機構の協力を得ながら、本事業における基本設計レビュー、詳細設計、入札支援及び施工監理業務を実施します。

インド中央電力庁が2018年に発表した電源開発計画では、再生可能エネルギーの増加が見込まれる状況下において、揚水発電は系統安定化やピーク時電力供給に大きく寄与する電源であり、その発電所数を計画的に増加させる必要があると位置付けられています。

Jパワーは、1989年以来、水力・火力・送電・電力セクター調査等、インド国において数多くの技術支援を行ってきており、揚水発電所建設に係る技術支援は本件で4地点目となります。

Jパワーグループは、2050年のカーボンニュートラルと水素社会実現に向けて挑戦するJ-POWER“BLUE MISSION2050”を本年2月26日に公表しました。今後もJパワーグループは、国内外で再生可能エネルギーの開発を加速させることで、日本と世界の持続可能な社会の実現に貢献します。

【添付資料】

1. トゥルガ揚水発電所建設事業およびコンサルタント業務概要
2. インド国においてJパワーが技術支援を行った揚水発電所建設事業